

政務活動費収支報告明細書

研究研修費・調査旅費

実績報告書 No. 1	項 目	研究研修費・調査旅費（該当する項目を○で囲む）			
	期 間	令和 6 年 10 月 17 日 から 令和 6 年 10 月 18 日 まで			
	研究研修名 ・場所等	第86回全国都市問題会議(兵庫県 姫路市文化コンベンションセンター)			
		「健康づくりとまちづくり～市民の一生に寄り添う都市政策～」			
	参加者	5 人、			
(氏名等) 早川八郎、大島もえ、櫻井直樹、いとう伸一、市原誠二					
経 費		研究研修費	189,850 円	調査旅費	0 円
実績報告書 No.	項 目	研究研修費・調査旅費（該当する項目を○で囲む）			
	期 間	令和 年 月 日 から 令和 年 月 日 まで			
	研究研修名 ・場所等				
	参加者	人			
(氏名等)					
経 費		研究研修費	円	調査旅費	円
実績報告書 No.	項 目	研究研修費・調査旅費（該当する項目を○で囲む）			
	期 間	令和 年 月 日 から 令和 年 月 日 まで			
	研究研修名 ・場所等				
	参加者	人			
(氏名等)					
経 費		研究研修費	円	調査旅費	円
実績報告書 No.	項 目	研究研修費・調査旅費（該当する項目を○で囲む）			
	期 間	令和 年 月 日 から 令和 年 月 日 まで			
	研究研修名 ・場所等				
	参加者	人			
(氏名等)					
経 費		研究研修費	円	調査旅費	円
項目別合計 (最終ページに記載)		研究研修費	189,850 円	調査旅費	0 円

第3号様式 (その1)

政務活動費実績報告書

研究研修費・調査旅費

実績報告書 No. 1

項 目	研究研修費・調査旅費 (該当する項目を○で囲む)		
期 間	令和 6 年 10 月 17 日から 10 月 18 日まで		
研究研修名	政務活動研究		
・	兵庫県姫路市 第86回全国都市問題会議(姫路市文化コンベンションセンター)		
場所等			
参加者	5 人 (氏名等) 早川八郎、大島もえ、櫻井直樹、いとう伸一、市原誠二		
研究研修・調査の項目			
兵庫県姫路市:「第86回全国都市問題会議」			
	適 用	金 額	備 考
経 費 内 訳	会費 (出席者負担金)	65,000 円	報告書 別紙1 参照
	振込手数料	770 円	〃
	交通費 (鉄道代)	90,080 円	〃
	宿泊費	34,000 円	〃
		189,850 円	

姫路市
 政務活動費
 実績報告書
 令和6年10月17日～18日
 早川八郎等
 189,850円
 報告書別紙1参照

6.10.30

第380号

第3号様式（その1）

内 容

報告書 別紙2 参照

今後の活用計画

報告書 別紙2 参照

適用	適用日	明細		備考	単価	数量	合計
交通費(鉄道)							
	10月17日	尾張旭駅	大曽根駅		330	4	1,320
	"	大曽根駅	名古屋駅	自由席特急料金	8,240	4	32,960
	"	名古屋駅	姫路駅	(ひかり号指定席満席のため)			
	"	名古屋駅	姫路駅	指定席特急料金	9,300	1	9,300
				(櫻井は私費で名古屋まで移動し、のぞみ号利用)			
	10月18日	姫路駅	名古屋駅	繁忙期指定席	8,970	5	44,850
	"	名古屋駅	大曽根駅	特急料金(ひかり号)			
	"	大曽根駅	尾張旭駅		330	5	1,650
							90,080
宿泊費							
	10月17日	ホテルアルファワン姫路南口(17日、1泊)			6,800	5	34,000
							34,000
参加費							
	9月6日	第36回全国都市問題会議			13,000	5	65,000
							65,000
振込手数料							
	9月6日	三菱UFJ銀行			770	1	770
							770
総合計							189,850

行政視察 報告書及び今後の活動計画

日 時 令和6年10月17日(木) 9:30～16:30

18日(金) 9:30～11:50

場 所 姫路市文化コンベンションセンター

視察内容 第86回全国都市問題会議

「健康づくりとまちづくり～市民の一生に寄り添う都市政策～」

【基調講演】1日目 9:50～11:00

○ 生命を捉えなおす 一動的平衡の視点からー 生物学者、青山学院大学教授 福岡 伸一

生命の姿を機械論(肝臓等の身体の一部を部品として考え、部品を治療する)ではなく、分子単位の生命論(人が食べたものが、分子として身体全体に行きわたり、古い分子を破壊して新しい分子に交換する)で考えるとの理論が紹介された。

手順として、自らを積極的に破壊し、それを作り直すことにより生命がバランスを取っているという興味を引く内容であった。つまり久しぶりに会う人に「お変わりなく」と声をかけているが、実際は分子レベルで「変わった人」となっているという。つまり破壊と新しく交換し、寿命を維持しようとする(いずれは破壊に交換が追い付かなくなるが)ことが動的平衡である。例えば姫路城が大きく壊れる前に先回りして少しずつ(例えば支柱を)壊していき、新しいものに入れ替えることにより、城を恒久的に保っている。

動的平衡は都市計画には当てはまるとすると、自治体はインフラや設備や生活環境などをいかに破壊して、いかに新しく交換するかをしっかりと考えていかなければならないという事に結び付く。

【一般報告】1日目 11:00～12:10

○ 市民の「LIFE」(命・くらし・一生)を守り支える姫路の健康づくりとまちづくり

兵庫県姫路市長 清元 秀泰

健康がまちの活力を生み出す事を念頭に、姫路市では健康づくりに資する取り組みとして以下の4項目の説明があった。

1 市民による主体的な介護予防を促進

軽度認知症(MCI)に注目し、認知症への進行予防に力を入れている。

「通いの場」「いきいき百歳体操」などへの参加を奨励するほか、健康習慣等への情報発信、若い世代へのがん検診や検査キットも推奨している。

2 ウォーカブルなまちづくり

公共空間の利活用、歩行者利便増進道路などで歩く機会を増やす工夫を都市として行っている。また、姫路城のライトアップと連動した大手前通りのイルミネーションで観光客を含む歩行者の滞留空間を創出し、まちなかの回遊性の向上に取り組んでいる。

3 ICTを活用した健康づくり

マイナンバーカードを活用した救急業務の迅速化や、特定保健指導や介護支援ボランティアなどの対象事業に参加することで獲得できるひめじポイント事業を行っている。

4 未来を担う子供たちの健やかな成長を支援

2023 年 4 月に、こどもの未来健康支援センター「みらいえ」を開設し、思春期の若者や妊産婦、子育て中の保護者やその家族などのニーズに応じた専門的な相談に応じている。また、子育て支援アプリ「ひめっこ手帳」や子育て支援サイト「わくわくチャイルド」、「姫路市 LINE 公式アカウント」などで情報発信を行っている。

【一般報告】1 日目 13:10～14:10

「生き物から学ぶ健康なまちづくり」 講師 筑波大学システム情報系教授 谷口 守

1 バイオミメティクス（生物模倣）への展開

都市を生命体として、どのように模倣できるかという点、道路や鉄道などの交通ネットワークは、血管などの循環器官といえる。また、1つ1つの建物や部屋は細胞に相当するといえ、都市も生き物も活動する上でエネルギーを必要とし、排泄物も出すことになる。

このように考えれば、「元気で元気のある都市」は「健康な生命体」に投影できる。

つまり、都市は生き物と同様に「成長」し、「新陳代謝」し、「怪我」もして「生活習慣病」にもなるということである。また、「老化」「再生」し、「多様性」が大切で「擬態」し、「共生」や「寄生」もあれば「性別」もあり、最近では「ゾンビ化」もあり「進化」もする。

一方で下手をすると「絶滅」もあるわけで、そうならないように暮らし方や空間構成に対する統合的なプロデュースが求められることになる。

2 都市は病気？

都市の交通ネットワークは、各所で渋滞が発生し、公共交通の撤退など循環器官としては決して健全とは言えない。また、必要なサイズよりも大きく郊外にふくれあがってしまう肥満型都市が散見され、空き家や空き地が増え、中がスカスカになっている骨粗鬆症の現状も見られる。都市サービスを受ける側が減少し、今まで提供されたサービスが撤退し、必要なサービスが受けられない「寝たきり都市」もある。

3 競争から協調へ

各市町村がバラバラにコンパクトシティを推進しようとしている。周囲と協調しながら都市構造の体質改善を図っていくことが、現在の各市町村に求められている健康まちづくりの本質である。

【一般報告】1 日目 14:30～15:30

「都市そのものを健康にするまちづくり」 講師 千葉県流山市長 井崎 義治

1 「健康都市」という考え方との出会い

流山市では、平成19年に健康都市宣言を行い、健康都市プログラムを策定し、市が推進する全ての施策分野において「健康」を考慮した施策を形成し推進した。

2 「駅前送迎保育ステーション」

子育て環境充実の分野では、人口減少の傾向を長期予想する中で、マーケティング戦略として、定住人口増加のために共働きの子育て世代をメインターゲットとし、住み続けたい、住み心地の良いまちづくりを目指した。待機児童解消のために、認可保育園の新設・増設と共に「駅前送迎保育ステーション」を作り、子育て世代を支援していった。

3 最後に

流山市は、「都市そのものを健康に」するために、「すべての政策に健康視点を」を基軸とした

政策立案の推進により、すべての市民のストレスを軽減し、同時にリフレッシュできる環境整備や施策展開に、継続的に取り組んでいく。

【その他の一般報告】

1日目 15:30~16:30 「IT/AI の健康分野への適応例」

講師 兵庫県立大学副学長 畑 豊

【パネルディスカッション】

2日目 9:30~

パネラー&話題提供

■宮本 太郎（中央大学法学部教授） ―健康づくりによるまちづくり

健康施策の定義が変遷し、特定対象者である「ハイリスクアプローチ」から一般市民を対象とした「ポピュレーションアプローチ」へ移行し、元気人口を増やしていくことに課題が焦点化されてきている。

病気に至らずともケアが必要な「未病」対策、ライフサイクルを通してのケアの時代に。

「社会的処方」という考えでソーシャルワーカーと手を組むなど、イングランドを参考に、「薬」のみに頼らず「つながり・場」に着目し、「まちの保健室」という小学校区単位の窓口を設置した三重県名張市の事例も。

良質な健康政策は、市民を巻き込んだ参加型まちづくりが重要となっている。

■三木 崇弘（高岡病院児童精神科医） ―心理社会面から見た、子どもの健康

小児科のトレンドが、感染症など「身体的ケア」から息苦しい現代社会における人の関係性や暮らしにおける「心理社会面のケア」へと移行している。

未来社会の活気は、「未来の大人」であるこどもの健康が重要。こどもが20~30年後の社会をつくり、50年後の社会は、その、こどもたちが育てたこどもたちによって担われる。

「健全に未来に貢献してほしい。」人への傾り方や心理的安全性、貢献感を高める体験など、ターゲットを親に限定しない、一元化した子育て支援が重要。

「住民が自分たちで健康になる行動が取れる、うまくいかない時には制度を頼ってもらう」

行政には、まちづくり全体を通して地域住民の生活や人生を土台からひっくり返すポテンシャルがある。誰かの幸せを想像しながらする仕事はとてもやりがいがある。

■奥村 圭子（NPO 法人日本栄養パトネット理事長）

―食を切り口とした1人1人に望む暮らしを支援する栄養パトロール事業

「栄養パトロール」事業を通し、「あなたの健康はどのように勝ち取りたいか？」との問いに向き合う市民。周りを優先し、自分のために自分自身の事を考える体験そのものが希少。

近隣では、大府、日進、東郷でも実施。一旦病気になると大変なので、管理栄養士は医師の指導の下動き、子供の栄養パトロールも重要で、出かける場や理由も作る。食べる楽しみの場も作る。

適材適所の関連機関につなげる「リンクワーカー」の役割で、健康状態不明者を見つけたり、SOSを出せない人を戸別訪問したり、食べられない原因の地域問題に向き合うなど、災害支援でも役に立つ。

「重層的支援体制整備事業」など、既存制度を利用した地域ごとの導入事例がある。

■今井 敦（長野県茅野市長） ―未来型「ゆい」で紡ぐ健康高原都市・茅野の構築

時代の課題である「支えるマンパワーの減少」に対応すべく諏訪中央病院との連携など市の取り組みを紹介。訪問介護や小児オンライン相談サービスなど。

テーマは3つ。①人の健康、②社会インフラの健康、③データの健康。

時代の恩恵で、生活利便性向上により会話しないで事が済んでしまう時代に。「話さない」→誤嚥性肺炎。その予防など、今まで通り、「話す・歩く」の継続のために、川下の現象に目を向けつつ、川上の原因へのアプローチを行う。

■南出 賢一（大阪府泉大津市長）

―「未病予防対策先進都市」をめざした「官民連携」「市民共創」のまちづくり

4つの中心的取り組み。①健康状態の見える化②学びの場の充実③食育の推進④多様な選択肢の提供。このサイクルを回すことで、市民をカスタマーではなく巻き込む形で関わっていく。

無添加食品店舗急増、未病予防対策、コロナワクチン被害対応、足裏測定によるインソール提供、3・90 までダンスの街など出かける理由をつくり、学びを元にひとりひとりが選択肢を持ち、選べるのが大切。

【視察内容と本市との関わりについて】

今回の全国都市問題会議は、「健康づくりとまちづくり」がテーマであり、健康都市宣言を行っている本市としては、参考となる講演内容や提言ばかりであった。

特に、開催都市である姫路市の取組は、「健康がまちの活力を生み出す」ことを念頭に、健康づくりに資する取り組みが報告され、とても参考になった。

また、流山市は、平成19年に健康都市宣言を行い、市が推進する全ての施策分野において「健康」を考慮した施策を形成しているとの報告があり、本市の取組を振り返る機会となった。

それぞれの自治体により、特色の違いがあるものの、健康づくりとまちづくりを進める課題は、本市においても同様のことが言える。

【今後の活動計画】

「市民の健康づくり」と「まちの健康づくり」には、相関関係があることを念頭に施策を検討していく必要がある。本市における「健康づくり」について、現状を把握し、その成果を確認しながら、市民の期待に応えられるようなまちづくりを進めていきたい。

令和6年

10月17日(木)

○ 自宅			
自家用車			
6:20 発	○ 尾張旭駅		
	名鉄		330
6:38 着 6:51 発	○ 大曽根駅		
	JR (在来)	大曽根駅～姫路駅 乗車券	4,840
7:06 着 7:26 発	○ 名古屋駅		
	JR (新幹線ひかり533号)	指定席特急券	3,930
		自由席特急券	3,400
8:49 着	○ 姫路駅		
	徒歩		
9:06 着 16:30 発	○ 姫路市文化コンベンションセンター	全国都市問題会議 (9:30-16:30)	
	徒歩		
○ ホテル			

■ ホテルアルファワン姫路南口 9,100
兵庫県姫路市南駅前町91-5 8,570
079-226-0005

- 上記は、早川、大島、いとう、市原 4 名の行程
- 櫻井は名古屋駅出発の別行程 (別紙 1 参照)
- 当日指定席満席のため、自由席特急券へ変更

10月17日(木)

10:26 発	○ 名古屋駅		
		JR（新幹線のぞみ63号）	
		乗車券	4,840
		指定席特急券	4,460
11:45 着	○ 姫路駅		
		徒歩	
12:07 着	○ 姫路市文化コンベンションセンター	全国都市問題会議(13:10-16:30)	
16:30 発		徒歩	
	○ ホテル		

9,300

- ホテルアルファワン姫路南口
兵庫県姫路市南駅前町91-5
079-226-0005
- 上記は、櫻井の行程
- 別行程の理由：前日まで尾張旭市を離れており、名古屋駅まで私費で移動するため
- 櫻井のみ、所用のため、午後から参加

令和6年

10月18日(金)

○ ホテル	
徒歩	
9:30 11:50	○ 姫路市文化コンベン ションセンター 全国都市問題会議
徒歩	
14:00 着 14:11 発	○ 姫路駅
JR (新幹線ひかり512号)	
姫路駅～大曽根駅 乗車券 4,840 繁忙期指定席特急料金 4,130	
15:42 着 15:52 発	○ 名古屋駅
JR (在来)	
16:04 着 16:16 発	○ 大曽根駅
名鉄 330	
16:31 着	○ 尾張旭駅
自家用車	
○ 自宅	

9,300
1

領収書等貼付用紙

会議参加費 領収書

市民クラブ

様

金 13,000円

但、「第86回全国都市問題会議」に係る会議参加費として
上記正に領収いたしました。

令和6年 10月 17日

第86回全国都市問題会議実行委員会
会長 清元 秀 泰

金額 13,000 円

日付 2024年 10月 17日

《注意事項》

- ①領収書等は、見やすく、かつわかりやすくするため日付順とし、重ならないよう貼付してください。
- ②両面印刷されているものは、裏面も確認できるように上部又は左端のみのりづけしてください。
- ③A4用紙以上のものは、そのまま貼ってください。

領収書等貼付用紙

ご利用明細

三菱UFJ銀行

ご来店いただきありがとうございます。

このご利用明細は必ずお持ち帰りください。

年月日	取扱店番	お取引内容
060906		お振り込み
受付通番	銀行番号	支店番号
		口座番号
		お取引金額
*****		¥65,000*

お取引 でない場合	残高	
		* * *
円高	円低	おつり
12.39	¥770*	

お振込先・お振込人・ご振込人

カ) JTB様

000169 オウリアサヒシ様

金額 770 円

日付 2024年 9月 6日

《注意事項》

- ①領収書等は、見やすく、かつわかりやすくするため日付順とし、重ならないよう貼付してください。
- ②両面印刷されているものは、裏面も確認できるように上部又は左端のみのりづけしてください。
- ③A4用紙以上のものは、そのまま貼ってください。

領収書等貼付用紙

領 収 証

Receipt

市民クラブ 様

No. 241017012

ホテルO1姫路南口

登録番号: T6140001065873
〒670-0962 兵庫県姫路市南駅前町91-5
P: 079(226)0005 F: 079(226)0006

発行日 2024/10/17
Issue

領収金額
Amount Received

34,000円

ご利用合計 消費税10%込 34,000円
(消費税10%計 3,090円)

ご宿泊料 等として
記載の金額を領収致しました。

The amount mentioned has been received. Tax included.

ご精算

クレジットカード

ご 請 求 / ご宿泊証明書

Billing Statement / Accommodation Certificate

No. 241017012

ホテルO1姫路南口

登録番号: T6140001065873
〒670-0962 兵庫県姫路市南駅前町91-5
P: 079(226)0005 F: 079(226)0006

お部屋番号 Room No.	室数 Number of Rooms	ご利用人数 Persons	泊数 Nights	ご利用日 Arrival	ご出発日 Departure
	5	5	1	2024/10/17	2024/10/18

ご利用明細 Description	単価 Unit Price	数量 QTY	金額 Amount
ご宿泊料	6,800円	5	34,000円
ご利用合計 消費税10%込 34,000円 (消費税10%計 3,090円)			
ご利用合計 Total Amount			34,000円

ご署名 様

ご請求先 様

金額 34,000 円

日付 2024 年 10 月 17 日

《注意事項》

- ①領収書等は、見やすく、かつわかりやすくするため日付順とし、重ならないよう貼付してください。
- ②両面印刷されているものは、裏面も確認できるように上部又は左端のみのりづけしてください。
- ③A4用紙以上のものは、そのまま貼ってください。

領収書等貼付用紙

会議参加費 領収書

市民クラブ

様

金 13,000円

但、「第86回全国都市問題会議」に係る会議参加費として
上記正に領収いたしました。

令和6年 10月 17日

第86回全国都市問題会議実行委員会
会長 清元 秀泰

金額 13,000 円

日付 2024 年 10 月 17 日

《注意事項》

- ①領収書等は、見やすく、かつわかりやすくするため日付順とし、重ならないよう貼付してください。
- ②両面印刷されているものは、裏面も確認できるように上部又は左端のみのりづけしてください。
- ③A4用紙以上のものは、そのまま貼ってください。

領収書等貼付用紙

会議参加費 領収書

市氏7377" 様

金 13,000円

但、「第86回全国都市問題会議」に係る会議参加費として
上記正に領収いたしました。

令和6年 10月 17日

第86回全国都市問題会議実行委員会
会長 清元 秀 泰

金額 13,000 円

日付 2024 年 10 月 17 日

《注意事項》

- ①領収書等は、見やすく、かつわかりやすくするため日付順とし、重ならないよう貼付してください。
- ②両面印刷されているものは、裏面も確認できるように上部又は左端のみのりづけしてください。
- ③A4用紙以上のものは、そのまま貼ってください。

領収書等貼付用紙

会議参加費 領収書

市氏ウラフ様

金 13,000円

但、「第86回全国都市問題会議」に係る会議参加費として
上記正に領収いたしました。

令和6年 10月 17日

第86回全国都市問題会議実行委員会
会長 清元秀泰

金額 13,000 円

日付 2024年 10月 17日

《注意事項》

- ①領収書等は、見やすく、かつわかりやすくするため日付順とし、重ならないよう貼付してください。
- ②両面印刷されているものは、裏面も確認できるように上部又は左端のみのりつけしてください。
- ③A4用紙以上のものは、そのまま貼ってください。

領収書等貼付用紙

会議参加費 領収書

市氏ワラフ 様

金 13,000円

但、「第86回全国都市問題会議」に係る会議参加費として
上記正に領収いたしました。

令和6年 10月 17日

第86回全国都市問題会議実行委員会
会長 清元 秀 恭

金額 13,000 円

日付 2024年 10月 17日

《注意事項》

- ①領収書等は、見やすく、かつわかりやすくするため日付順とし、重ならないよう貼付してください。
- ②両面印刷されているものは、裏面も確認できるように上部又は左端のみのりづけしてください。
- ③A4用紙以上のものは、そのまま貼ってください。